

芸術体験講座



福岡市能楽協議会



ミュージックコンサート

真の芸術文化のすばらしさを多くの児童・生徒たちへ

会場 県内小中学校及び特別支援学校 12校

事業の目的

この事業は、平成17年度から始まった事業で、県内の小学校、中学校、特別支援学校に、プロの芸術家や伝統文化の継承者等(以下、芸術団体)を派遣して、学校教育活動の中で様々な芸術文化を体験することで、芸術文化の楽しさや素晴らしさを知る機会の充実を図り、児童生徒の豊かな人間性と多様な個性を育むことを目的としている。

事業の内容

- 実施機関
福岡県文化団体連合会(事務局)に「令和5年度芸術体験講座実行委員会」を設置。(実行委員会は平成25年から設置)
- 芸術体験講座の実施時間等
 - ・時間
1学校あたり90分(学校の授業単位2時間相当)
 - ・会場
学校施設(体育館、講堂、多目的ホール等)
- 事業実施の留意点
 - ・講座実施希望校調査の実施と実施校選定

- ・芸術団体と学校間の講座内容の確認
- ・講座実施当日の連絡調整と事業実施(結果)報告書の提出

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に対応した講座

- 本年度の開催にあたっては、令和5年5月8日文科科学省発出の「5類感染症への移行後の学校における新型コロナウイルス感染症対策」について(通知)を基本とした学校のガイドラインを基に実施することを決定した。
- 説明会では、文科科学省のガイドラインのほかに、8項目にわたる注意点を配布し、学校、芸術団体ともに、各講座毎に開設に至る迄の連携を密にして、安心して実施できる環境を整え、適切に対応できない場合は、講座を実施しないことを確認した。

芸術体験講座を終えて

- ・学校からの報告書や児童生徒の感想文に加

えて、5年度から芸術団体からも報告書(学校の対応、講座内容等)を提出してもらった。報告書、感想文からは概ね児童・生徒達が芸術体験活動を通して芸術の素晴らしさ、楽しさ、面白さ等を学んだことが書かれており、芸術に対して興味や関心が高まり、感動を与えたと思われる。

- ・芸術団体と一緒に活動することで、日常生活が学校内で取り組んでいる活動とは一味違う充実した講座となった。
- ・小規模・少人数の学校では、学校独自で民間の芸術団体等を招聘することは、予算的にも厳しく、次年度も芸術体験講座を希望したいなど、本講座の開催を喜ばれた。
- ・学校からの要望に充分応えた講座内容で充実していたが、惜まれるのは、子どもが広範囲に動く場合、マイクを使用した方が、指示が通りやすいと思われる場面があった。また、講座90分の中で、時間配分を工夫したら更に充実した芸術体験講座の目的が達成されると思われる講座もあった。



福岡ホルンアンサンブル



和楽団ジャパンマーベラス



子どもに能楽を勧める会



ふれあいコンサート実行委員会

実施校数	
1	平成17年度 34校
2	平成18年度 32校
3	平成19年度 26校
4	平成20年度 30校
5	平成21年度 31校
6	平成22年度 27校
7	平成23年度 28校
8	平成24年度 30校
9	平成25年度 30校
10	平成26年度 29校
11	平成27年度 30校
12	平成28年度 30校
13	平成29年度 20校
14	平成30年度 20校
15	令和元年度 20校
16	令和2年度 17校 <small>※3校中止</small>
17	令和3年度 19校 <small>※1校中止</small>
18	令和4年度 20校
19	令和5年度 12校

合計 485校

第31回ふくおか県民文化祭2023「芸術体験講座」実施校一覧

市町村名	学校名	対象学年	受講人数	芸術団体名	講座名
北九州市	貫小	6	76	福岡市能楽協議会	伝統芸能
福岡市	箱崎小	3・4	205	和楽団ジャパンマーベラス	伝統芸能
	板付北小	3・5・6	162	ミュージック コンソート	音楽
	堤丘小	6	35	Office トウルス	総合芸術
久留米市	大橋小	5・6	28	山崎北山・宮本直美	伝統芸能
直方市	中泉小	1・2	15	劇団さんぼ	演劇
	直方南小	全	96	子どもに能楽を勧める会	伝統芸能
八女市	星野中	全	31	プレイ集団・You遊	演劇
鞍手町	新延小	5・6	34	福岡ホルンアンサンブル	音楽
大刀洗町	大堰小	5・6	22	ミュージック コンソート	音楽
県立	築城特別支援	小1～高3	220	ふれあいコンサート実行委員会	音楽
	小郡特別支援	高等部1～3	72	九州打楽器合奏団	音楽

総受講生996名(内訳:小学校673名 中学校31名 特別支援学校292名)

派遣者71名(内訳:芸術団体51名 実行委員20名)

合計 1,067名

芸術団体からの感想(抜粋)

○緊張した面持ちで「何が始まるのだろう」という空気感からスタートした演劇体験講座でしたが、次第に心身もほぐれ、等身大の皆さんで表現活動に取り組んでくれたように感じました。日常的に馴染みのない「演劇」という世界は実は普通の生活に溢れているものだと体感していただけたように思います。私たちも生徒の皆さんから沢山の発見をいただきながらの授業展開となり先生方も含め「皆さんと一緒に作り上げた講座」になりました。
(ブレイ集団・You遊)

○体験講座はエアーの全身体験にいたしました。特に、囃子の楽器体験は日頃触れられない能の楽器の難しさ、間を理解し楽しく体験いたしました。最後に舞囃子「船弁慶」に参加したことは良い体験にされたようです。校長先生始め教頭先生、担任の先生も含め学校全体で、熱心に誠意を持って取り組んでいただきました。当日は案内、体育館の清掃も丁寧にいただき助かりました。能楽の普及のため今後も楽しく、分かりやすい教室を開催していきます。
(福岡市能楽協議会)

○児童の皆さんの聴く態度が素晴らしく通常のプログラムよりマジックを多く教えることができて良かったです。マジックを練習する姿も真剣でとても素晴らしかったです。最後の児童さんの感想も「マジックに対しての先入観を取り払うことができ、マジックの楽しさや不思議さを感じお家に帰ってお母さんに見せたいです。」「兄弟姉妹に見せたいです。」等嬉しい感想が聞けて幸せな気持ちになりました。マジックをきっかけに家庭での会話が増え温かい家庭作りのお手伝いができればと願っています。このような素晴らしい機会を作ってください誠に有り難うございます。これからも一人でも多くの児童の皆さんに笑顔をお届けしたいと思います。
(Officeトゥルース)

○当日は8時半過ぎから体育館でリハーサルを行いました。大型ストーブが設置してあり、寒さは感じませんでした。開きの挨拶で教頭先生が「私もホルンだけのアンサンブルは聞いたことがないので楽しみです」と言われ、児童の興味が増したように思いました。演奏曲目にクラシック音楽だけでなく、アニメの曲や、小学校で学んでいる鍵盤ハーモニカやリコーダーも使ったので授業での音との違いを感じた様子でした。アルプホルンの体験では講師の指導を受けながら喜んで活動していました。
(福岡ホルンアンサンブル)

学校からの感想(抜粋)

○普段、なかなか体験することができない貴重な場をいただきました。子どもたちは、プロの音楽家、ピアニスト、チェリストの方々の演奏に聞き惚れていました。音楽の授業で聴くCDでの音との音圧の差に圧倒され、驚いた表情を浮かべる子もいました。その上演を聴かせていただくだけではなく、本校の校歌の指導までしていただいて、子どもたちも普段の自分たちの声の違いを感じ、嬉しそうでした。お暑いく中、空調も無い音響の悪い体育館でしていただいて、申し訳なかったです。
(大刀洗町立大堰小学校・ミュージック コンソート)

○子どもにとって親しみやすい活動で、楽しく参加することができていた。講師の先生がずっと笑顔で「だめ」な答えは無いと声かけをしていただいていたので、安心して自分を表現することができていた。初めは参加していなかった子どもも、最後の「エア大縄飛び」では、皆と一緒に創ることを楽しむことができていたので、子どもたちにとって良い経験となっていた。
(直方市立中泉小学校・劇団さんぼ)

○素朴でおとなしい生徒が多く自分から表現することが苦手であるが、今回の芸術体験講座では、普段と違う生徒の生き生きと表現する様子が見られて、とても良かった。うちの学校の生徒にとって良い体験だったので、機会があればまた体験させたい。
(八女市立星野中学校・ブレイ集団・You遊)

○プロの方々の本物の演奏に触れて、貴重な体験をすることができました。演奏だけでなく、クイズを交えて楽しく楽器を紹介してくれたり、児童の演奏体験を通して会場が一体となって演奏をしたりと、あっといふ間の楽しい時間を過ごすことができました。
(福岡市立箱崎小学校・和楽団ジャパンマーベラス)

○日本の楽器(尺八や箏)を生で見たり演奏を聴いたりする機会はそうそうありません。しかも、今回は体験もさせていただけるということで申し込みました。楽器を間近で見たり、聴いたり触らせていただいたりしたことで、興味関心が高まったようでした。給食の時間に流れる音楽を聞き、「昨日聞いた箏の音に似ている」と言っていました。子どもの中に「私たちの身近な所に音楽があり、生活や心を豊にしてくれる」という実感が生まれたのではないかと思います。(久留米市立大橋小学校・山崎北山、宮本直美)

○間近で聴いたプロの演奏は素晴らしく、生徒と教師一緒に非常に盛り上がりました。生徒たちが日頃親しんでいる楽器の様々な鳴らし方や音色の違いなどをレクチャーしていただき、生徒たちが食い入るように聴いていたのがとても印象的でした。普段おとなしい生徒が音楽に乗って両腕を大きく上下させながらノリノリで楽器を叩くなど、今までに見たことのない生徒たちの新たな姿を引き出してくれました。音楽の力ってすごいなと改めて感じました。
(県立小郡特別支援学校・九州打楽器合奏団)

子どもからの感想(抜粋)

○今日、能の体験をさせてもらいました。小鼓、大鼓は馬の皮、太鼓は牛の皮でそれぞれ違う皮を使っていることを初めて知りました。そして、最後の仕舞「八鳥」が、とても迫力がありました。息が揃っていたのですごかったです。能は、もっと遅い動きかと思っていたけど、意外に速い動きだったので驚きました。この、仕舞は、最後のめでたく終わるという意味も初めて知りました。他にも、ひな人形の五人囃子や相撲は能からきていると聞いて驚きました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
(直方市立直方南小学校・子どもに能楽を勧める会)

○タイプライターの演奏が面白かった。楽器の音の大きさにびっくりしたけど、手拍子したり歌ったりして、楽しかった。知っている曲を生演奏で聴いてとても感動した。自分でもコンサートに行ってみよう。
(県立築城特別支援学校・ふれあいコンサート実行委員会)

○能のかけ声とリズムがあっていて、とても演奏がかっこ良かったです。また、せりふの言い方が難しかったです。能楽師の方が、間近まで来て演技をしてくださったので、とても迫力がありました。観るのが楽しかったので、もう一度観てみたいと思いました。
(北九州市立貫小学校・福岡市能楽協議会)

○とても和音がきれいで、リズムがとてもよくて、耳に残るくらい美しい演奏でした。楽器で長い笛と牛の角がすごかったです。ドラムがすごくかっこよかったです。下からどんどん聞こえてきました。4人とも皆同じ高さや低さの音を出せるのがすごかったです。アルプホルンを吹くとき、音を変えたいときは、口笛を吹くようにすればよいことが分かりました。ホルンには長い歴史があることが分かりました。
(鞍手町立新延小学校・福岡ホルンアンサンブル)

○卒業式に向けて練習している曲を講師の先生に教えていただき、よりよい声の出し方が分かった。自分たちの声が変わったことが分かって嬉しくなった。教えてもらったことを卒業式でも活かしたいと思いました。
(福岡市立板付北小学校・ミュージック コンソート)

○今日はとても面白く楽しいマジックを披露していただき本当に有り難うございます。マジックだけでなく言葉でも人々を楽しませることができてすごいなと思いました。今日テバツタさんが行ったマジックの中で特にすごいなと思ったのは、紙袋の中からふくらんだ風船が出てくるのがすごいなと思いました。もらったマジック道具で家族にマジックをすると、とても驚いていました。もっと色々なマジックをしてみたいと思いました。(福岡市立堤丘小学校・Officeトゥルース)

芸術体験講座をしていただいた芸術団体/個人の皆様



Office トウルー



プレイ集団・You遊



九州打楽器合奏団



山崎北山・宮本直美



ミュージック コンソート



劇団さんぽ

芸術体験講座(事業のご案内)

*福岡県下の小学校・中学校・特別支援学校に「芸術団体・個人」を派遣します(「芸術団体・個人」は事前の登録が必要となります)。

*芸術団体・個人の分野は、「伝統芸能(能、琴、尺八など)」、「音楽(ピアノ、ヴァイオリン、ホルンなど)」、「ダンス」など。学校への希望調査をもとに、派遣校を決定します。

*細かなお手伝いは、芸術体験講座実行委員会が行います。

*実施に要する報酬(謝金)、交通費(旅費)は、福岡県文化団体連合会が負担します。

*詳しい情報は、福岡県文化団体連合会のホームページ(<https://www.fukuokakenbunren.jp/>)をご覧ください。